

2019/01/11

卓 491 新春 サスペンス岬

木曜日から新学期も始まりました。



(2019/1/10 8:53)

加えて、受験シーズンもいよいよ本格化。

半分冗談ではありますが、

発する言葉もやや精選。

身近な物品が、高い場所から低い場所へと

加速して上から下へと移動してしまった場合に、

とっさに実況描写の声を上げちゃう場面でも、
このようにつぶやくようにしています。

「重力のバカ。」

言葉が乱暴な…，と思われた方は，

「重力にご用心。」，くらいでいかがでしょう。



新春早々，冬休み末期・午後の我が家では，

古いサスペンスドラマが BS 放送で流れっぱなし。



(2019/1/9 18:36)

ラストの方で、刑事に犯行を追及された犯人が、
逆上して喫茶店等を飛び出したその直後に、
後追う刑事らとともに、舞台はなぜだか、
打ち寄せる荒波に切り立つ断崖絶壁に。

自然度の増す景観に対し、急変する
この設定の不自然さこそ、視ていて
「待ってました」と心で叫んでしまう
定番の場面。

その上、
銃刀法に抵触する格闘をひとしきり終えて、
若干の軽傷者を出して、犯人はお縄に。
船越英一郎さんや片平なぎささんの演技が定番。
昭和後期～平成に大成した時代劇と見えています。

因みに 2015 年，当時の中学硬式テニス部の
大会出場の際に泊まった福島県のホテルに，
ドラマのロケででしょうか，片平なぎささんの
ご一行が同宿だったときがありました。

当時の生徒達は，きいたことがないとのこと
でしたので，気を揉むことは特になしでした。

でも，この手の場面，きれいにはなれません。

それは，地形が気になるからです。



逃げ道の選択肢のない，

極度に追い詰められた状況を、
劇場的に映せる地形はやはり、
下部に荒波の絶えず打ち寄せる
海食崖(かいしょくがい)が最上の選択で、

洋上に突き出た岬ともなれば、
後戻りできない感がいっそう引き立つ、
不思議な花道として選ばれてきた空間
なのかもしれません。

では、このほかにある地形の数々で、
サスペンスドラマのクライマックスに
合うものは果たしてどれくらいあるのでしょうか。

高校の地理 A・地理 B で出てくる地形の種類の数々で
俳優陣と撮影クルーが現地に赴く現実性も含め、
このことを軽く検証してみました (01~20) 。
勝手ながら地形用語の詳説は省略させていただきます。

01. 自然堤防・浜堤

⇒ 高低差が数十 cm ゆえ、画から受ける刺激に乏しいので、難。

02. 砂州・砂嘴

⇒ 海に面しているものの、陸側は低平すぎて、ドラマ的には画にならない。

03. 三角州

⇒ 泥沼にはまるという設定以外、陸が低平すぎて画にならず。

04. エスチュアリー

⇒ 「あなたが川だと思っていたものは、ほんとうは、海だったの！」などというセリフでも無い限り、これも全く画にならず。

05. モレーン

⇒ 岬の場合とは、全く高低真逆のシチュエーションゆえ、却下。

06. ドリーネ

⇒ くぼ地であるため、事件の解決はおろか、閉塞感に満ちた画しか撮れない。

07. フィヨルド

⇒ 『叫び』(ムンク)の場合を除くと、崖はあっても荒波が乏しい場合も多く、叙情的な画を撮りたい場合の効果は、各サンプルで差が大きい。

08. リアス海岸

⇒ 海食崖と並び、採用例最多の部類。適。

09. ギャオ(ギャウ)

⇒ ロケに適しているが、遠くアイスランドまでの移動については、採算に不適。

10. 環礁・堡礁・礁湖

⇒ 海辺に面するものの、珊瑚礁のマリンブルーがムーディーを超えてチャライ画にも映り、オリジナルの作風からは完全に逸脱する。

11. 噴火口

⇒ 海食崖の岬よりも適しているが、ロケ隊の危険度はきわめて高く、保険のかけ高も高額となる。

12. 河岸段丘

⇒ 両岸の段丘面同士から口論・闘争となる場面もよいが、双方間が数百メートル以上も離れているため、撮影陣が良質の画像を撮るのが困難である。

13. カルデラ

⇒ 阿蘇の草千里で迫ってみた場合、周囲の景観が雄大で爽やかに映りすぎてしまい、観光アピール的なパロディー動画になりかねない。

14. 地塁

⇒ へりにつらなる断崖は撮影の舞台となりうるが、下部に荒波が無い点でやはり岬には劣る。幅が平均台のようにきわめて細い地塁の場合にのみ、ロケ採用の魅力が検討される。

15. 汽水湖(地形用語ではありませんが)

⇒ 低平で、水辺ばかりが背景に映る画とはなるが、背後で じょれん(鋤簾)を使ってしじみをすくいあげる漁師の姿を足せば、何らかのメッセージ性のある画は撮れそうである。

16. 海溝

⇒ 荒波よりも数千メートルも海面下であり、光が届かぬばかりか、水圧が高すぎてロケ隊の進入そのものが、CG 処理を施す場合を除いては概ね不可能。

17. トンボロ(陸繋砂州)

⇒ モンサンミシエルの手前に代表されるように、満潮時に水没するタイプのものは、最適。

18. 天井川

⇒ 高い所に水がおとなしく流れているのを背景に、低い所に広がる市街地を見ながら口論する場面ロケが果たして、斬新と評されるのか、意味不明と酷評されるかが謎。

19. 三日月湖(河跡湖)

⇒ 陸水面はあるものの、水流の無い静寂感のために、思い通りの設定になかなか至らない。

20. 成層火山

⇒ これこそ富士山頂などで白状を迫るなど、岬以上に圧迫できる場であるが、背景が大パノラマで壮大すぎるため、視る側の注視のポイントが、人間たちのやりとりから逸れてしまう可能性が大きく、ロケ移動に費やす採算とは明らかに合わない。

ポイントとしては、上記の場合、

ある程度定着していた知識をベースに、

与えられたお題の答えを、何十通りも探って、

その良し悪しを検証していこう、

というものになります。

長くなりましたのできょうはこのへんで。



0 コメント

2019/01/18

卓 492 三十幾周

いよいよ大学入試センター試験。

初日(1/19(土))の朝一番は地歴から。

地理 A・地理 B 受験組の健闘を想います。

今年は多分、ピッケやムーミンの出題はないでしょう。



(2019/1/18 6:57)

こちらは、センター試験ではなく、

金曜日の本校の高校一般入試等々。

担当ゆえ今日は、

7:00 から 19:40 まで学校におりました。

途中、グラウンドの隅に駐めていた車を

玄関の横へ移動の際、



(1/18 16:06)

陽が少し延びたのか、

4時台でも明るい感じでしたが、

北からの「からっ風」(「筑波おろし」)がやはり冷たく…。

話は替わりますが、

1期～14期卒業生の合同の同窓会が、

2/3(日)に予定されています。

担当の酒井先生が、きょう申し込み数が

50件を超えましたと話していました。

くわしくはこちらからどうぞ。

⇒ <https://www.seitoku.jp/toride/2018/12/13217/>

なお、1期生は昭和 61 年卒、

14 期生は平成 11 年卒です。

毎年1月になると、

この本が書店の学参コーナーに並びます。



(ちなみに Suica で支払いました。)

当ブログでも過去に何度かとりあげさせて
いただいているこの本は、地理の授業でも
副教材として使用しています。

今、平成をふりかえる企画内容が
テレビの報道やバラエティ番組で盛んです。
その流れに乗るわけではないのですが、



平成元年(1989年)に出たバージョンがありましたので、

2冊見比べて、経年変化を考える問いを、

3つだけつくってみました。

第1問. 何の統計? 「×××の生産」

生産量のトップ5。世界計は30年で倍以上に増加。

1986年(昭和61年)			2016年(平成28年)		
日本	12060	26.3%	中国	28119	29.6%
アメリカ	11319	24.7%	アメリカ	12181	12.8%
西ドイツ	4609	10.1%	日本	9205	9.7%

フランス	3195	7.0%	ドイツ	5747	6.0%
イタリア	1831	4.0%	インド	4519	4.8%
.....					
世界計	45761	100.0%	世界計	95058	100.0%

数量の単位は「千台」です。

第2問. 何の統計? 「×××の飼養頭数」

飼養頭数量のトップ5。全国計は30年で3割強減少。

1986年(昭和61年)			2016年(平成28年)		
北海道	808	39.4%	北海道	779	58.9%
千葉	89	4.3%	栃木	52	3.9%
群馬	75	3.7%	岩手	43	3.3%
岩手	75	3.7%	熊本	42	3.2%
栃木	65	3.2%	群馬	35	2.6%
.....					
全国計	2049	100.0%	全国計	1323	100.0%

数量の単位は「千頭」です。

第3問. 何の統計? 「×××の生産」

生産量のトップ5。世界計は30年で1.5倍の増加。

1987年（昭和62年）			2016年（平成28年）		
ブラジル	2112	34.4%	ブラジル	3019	32.7%
コロンビア	654	10.6%	ベトナム	1461	15.8%
インドネシア	330	5.4%	コロンビア	745	8.1%
メキシコ	315	5.1%	インドネシア	639	6.9%
コートジボワール	260	4.2%	エチオピア	469	5.1%
.....					
世界計	6145	100.0%	世界計	9222	100.0%

数量の単位は「千トン」です。

というわけで、解説・解答です。

今お忙しくない方、雑談を聴く程度でお付き合いください。

第1問についてです

数量の単位は「千台」です、というと

もうバレバレですよ。

中国が生産第1位になって10年ほどになります。

ドイツや日本のメーカーによる製品品質の

信頼度が高いことでも知られているこの品物は、

自動車です。

この 30 年の間に、日本も中国も、

自動車保有人口は増えました。

ちなみに、日本の自動車メーカーは、

製品の6～8割を、他国で生産するように

なったことなどが、日本での生産台数の変化に

現れています。

第2問についてです

単位から考えて、まず、

ニワトリではなさそうですね。

北海道がダントツでこちらもバレバレ。

全国総計は7割ほどに減っています。

第2位だった千葉県は、

2016 年は示されていませんが、

第6位(31 千頭)にありまして、3分の1に減少。

日持ちがしなかった生乳(牛乳など)の生産は、

昭和(特に戦後)に、東京など大都市近郊の

千葉県などで発達したのに対し、

バターやチーズの生産は、北海道など、

大消費地である大都市から遠く離れた地域で

発達したという傾向がありました

(…で、問いの答えは **乳牛(乳用牛)**です)。

しかし、昭和後期の技術の進歩により、

高速道路、航空機、保冷トラックなどが

活用されるようになると、

輸送上の制約が緩和され、

北海道など遠方の牛乳も、

大消費地に届くようになりました。

小売の方法も激変します。

牛乳販売店による瓶入りの宅配販売は、

ほとんど見るものがなくなったのは、

1970年代以降の大型スーパーや

コンビニを中心とする流通革命の結果であり、

このことが乳牛の生産農家数や飼養頭数に

影響を与えていると見てよいでしょう。

大都市近郊の都市化(住宅地の増加)も、
近郊にあった畜産農家や酪農家の
減少または移動(移転)を促進しています。

第3問についてです

ブラジルがダントツであるのと、
熱帯に位置する国々から見て、
コーヒー豆とすぐに連想しやすい表です。

特に、コロンビアを追い抜いて、
第2位にベトナムが登場してきたのは、
2000年ころからのことで、
「ドイモイ(刷新)政策」の推進の結果、
農業、工業、観光産業などに大きな
伸びと躍進が見られるようになりました。

コーヒー豆から話は工業製品へと移りますが、
中国が多数担っていた繊維産業などの工業も
今はベトナムなどの近隣諸国に移動しつつあり、

日本の百貨にある品物も、中国産ばかりではなくなってきました。

ここ4～5年の間には、
中国やベトナムからさらに
原料や労働力の安い国々への移動も見られます。

大手スーパーで見かける衣類が
ミャンマー製、バングラデシュ製の表示であったり、
パック入りのきゅうりの漬物の原料が
ラオス産の表示であったりするなど、
身の回りの品物が中国発よりも、
ASEAN 諸国発のものに移りつつあります。
中国の経済成長と、経済水準の向上に因るものです。

実際ベトナムでは、コーヒーはよく飲まれておりまして、
フランスの植民地支配(1884-1949)の影響もあってか、
カフェオレで飲む文化がさらに独特な発展を遂げ、
練乳で甘くしていただく様子などは、
「ベトナム コーヒー」などで検索すると、
動画で見ることができます。



0 コメント

2019/01/25

卓 493 青かった時代

センター試験明けの月曜日、

地理 A・地理 B 受験組から、

モーニング・レポート。

「〇〇点でした。自分で立てた目標にあと1点でした。」

「うわあ(惜しかった)。でもいつも、

愉しんで取り組んでたから、(内容は)役立ちますよ。」

「点は…(両手で□□点と表現)。「私もです。」

「おお、先生の齢と同じじゃん。」

「え？先生、そう(□□歳)なんですか？」

「うん、19××年生まれ。」

「えー、(□□歳に)見えないですね。」

「それはどっちの『見えない』なの？」

「40代なのかなー、とか。」

「40代？ …もうひと声。」

年末に過去問を練習した際に

80 点超えをした人からは、

「* * 点, とれました！」

この人の6年上に当たる先輩 Y さんが、

センター地理の本校最高得点でしたが、

この人はその得点に同点で並びました。

おみごとです！

そしてみなさんおみごとでした。

これは内輪ネタになりますが、是非とも、

サロマ湖のホタテを食べに行きましょう！

「青い制服の会」(第1～14期卒業生・合同同窓会)

の日が近づきつつある中、放課後の職員室では、

当時の写真を会場 BGV 用に編集している

先輩・福島先生の PC の周りに、

画像を見て盛り上がる先生方の姿が。

残念ながら自席で手が離せなかった私は、
どんな画かな～(当日見よつと)とか思いながら、
(福島先生にはおよびませんが)自分の手元にある
青い制服時代の写真を探してみるつもりになり…。

退勤後、プチ搜索、開始。



1995年の5年生(12期生)との写真とご対面。↑



(当時は 天草群島の大矢野島にも。生徒のカメラは「写るんです」が全盛期の頃。)

四半世紀超えゆえ、

投稿顔出しをご容赦くだされば…。

もちろん、9期生との写真もあります。↓



(1992 年4月)

因みに、

1/24 現在の出席申込み数ですが、

106 名 (+ 同伴者(家族)33 名)。

大勢な順に挙げますと、

14期生が 24 名、

11期生が 17 名、

7期生が 10 名、

3期生が 8 名、

8・9期生が各 7 名、

2・5・12・13期生が各 6 名。

4期生が 4名,

6・10期生が 2名,

1期生が 0名,

15期以降生の役員が 1名

当時、入学前に届いた青い制服に袖を通し、
胸がときめいた人、さほどときめかなかった人
と、さまざまいたとも思いますし、

卒業後にしてもそれを、
とってある人、手放すことにした人と、
こちらもさまざまいると思います。

5期生が6年生(高三)であった平成元年に、
授業担当として本校にデビューをしましたが、
会食後の中央階段を上がる際に目についたのは、
青い綿ぼこりがところどころ足元に佇むの景。

千人超の青い制服まとう乙女(当時)が
往来するメインルートには、
濃いブルーの綿生地だったであろう

不思議な色の綿ぼこりが必ず、
通路の隅に数個は転がっていました。
教室の机の脚にも必ず纏わり着いていました。

しかし、ほどなくしてそんな色彩や質感などに
気にならなくなっていた自分がおりました…。
さまざまな起伏や気象に向き合いながら、
こんにちに至っております…、の感。



(1995/11/17 太宰府)



0 コメント

2019/02/01

卓 494 白の季節 +お知らせ

年明け以降まったく降水の様子もなく、
方々で火の用心を呼びかける消防車の姿を
見かけた1月の終盤、ついに微かな降雪が。



(2019/2/1 7:45)

出勤途上で見かけた薄化粧の筑波嶺。

学校の4階から改めて眺めまして…。



(8:21)



眼下の田園も含め、いつもと見え方が違う分、
異国に迷い込んだ感が少し味わえました。

この齢ですと、雪との戯れ方は、
じかに触れて心躍らすことよりも、
多様な雪景色が醸す、視覚的情感に偏ります。

でも、富士山方向の景観も今日の場合は、



(2/1 9:45 頃 撮った生徒から画像を上げてもらいました。)

手前に連なる丹沢・大山(神奈川)まで見え、
2校時の5A 理系の地理の授業前に、

4階の地理室から撮る生徒，続出。

個人的には寒い真冬は苦手ですが，



(2/1 8:23)

この時季ならではの時空の様相を

視覚的に愉しむことで，恩恵を感じています。

毎年この時期，中3社会・公民的分野は

経済をじっくりとふれる頃でもあるので，

税理士の先生，お二人にご来校いただき，



(2019/1/31 14:44)

身近な税から古今東西の税に至るまで
思いを深めさせていただける時間を
今年も展開していただきました。



(2019/1/31 14:56)

国民の会費というべき租税のありようを、
能動的にも熟考する契機となればの思いは、

終了後に退室する生徒たちが、機材を片付ける
税理士先生方にお礼の言葉を繰り返す様子から、
概ね伝わっているものと実感しました。

税理士の先生方、今年もありがとうございました。

レクチャー中心ではありましたが、
純粋な認識が、探究心を抱きながら、

色濃く深化するような契機を与えていただきました。

お知らせがあります。

本校の教員ブログが次年度から、

新たな URL に移ることになりました。

ですので、2009 年から始まったバックナンバーは

4月からは現行の <http://torideseitoku-tblog.jp/>

からはご覧いただけなくなります。

何だか、8 年前のテレビの地デジ化を思い出しました。

⇒卓 102 <http://torideseitoku-tblog.jp/mizukoshi/2102>

(2011/7/24 にアナログ停波)

⇒卓 073 <http://torideseitoku-tblog.jp/mizukoshi/1570>

(2011/1 『Sound of Music』で字幕に「地デジへの対応を…」で笑)

Weekly TAKU の場合、このペースで行きますと、

2019/3/29 付の「卓 502」などは、

3/31 まで2～3日間だけの短命投稿となりそうですが、

まあ、何かしらの工夫をします。

4月以降も、築地から移転した豊洲市場ばりに

Weekly TAKU の投稿を続けるか否かにつきましては、

目下のところ検討中です。



0 コメント

2019/02/08

卓 495 藤代晴天

生徒玄関。



(2019/2/3 10:46)

保護者会に来校したお母さん方で
受付が賑わっているのかと思いきや、



(10:52)

こんな来校者も。保護者の方ではなさそうですね。

地下一階の食堂に入ると…,



(11:00)



(11:00)



(11:00 本校元教員 渡邊久子先生・清水洋子先生と談笑する開会前)

1986年から1999年までの間に本校を
卒業したみなさん合同の同窓会の開催でした。

会の名も、森英恵さんによるデザインの
初代の制服にちなんで、



(12:35 9期生と10期生)

「青い制服の会」。第1～14期生, 限定です。

所在地も藤代町山王でしたので,

松戸の「秋山校」に対して,

「藤代校」とも呼ばれていた代です。



(9期生卒業時の記念テレカ)

(本稿2番目の写真の覆面来校者は9期生の Y.A.さんです)

会場の一角には、お子様連れ世帯も気軽に

参加できる「小笠原流礼法講座」、

臨時開講。礼法科の井出先生と水引きづくり。



(12:16 元養護教諭・渡邊久子先生も受けています。)

現役の中1生(お母さんが卒業生で本日参加)

が指導アシスタントに入ってくれました。

この子たちの制服は、2018年から登場の3代目。



(13:08)

新制服の顔はめボードでは、

子二人抱えるママさん奮闘。

ちなみに、バイキング方式の食事には、

今の生徒に人気絶大メニューの

キムチ炒飯(キムチごはん)の姿もありましたが、



(カレーライスとキムチ炒飯を 半々合い盛りにしてみました)

よく見るとキムチ炒飯, あまり減っていないのです。



そうです。きょうお越しの世代の皆さんの頃、
キムチ炒飯なるメニューはなかったので、
会食ソウルフードの王者にはなれませんでした。



懐かしの会食メニューは、デザート部門に。

抹茶ブランマンジェの人气が絶大な世代。

在学当時の歓びは、次世代に継承されておりました。



ラストは、酒井先生の演奏で唄う学園歌。



(12:55)

(二番)「 **青くー 大きく 澄みわたるー** 」



(12:56)

「 空を一 ながめて 語りあい 」

… 地下一階ですけどね。

でも、集合写真のバックの壁画は大空のよう。

かくしてみなさん、はげみはげまし合い、

行末の的に向かって散会したのであります。



(12:39)

本日2月8日(金)は、
別件で授業交換をした結果、
5年 A 組理系の地理が、2時間連続となったので、
臨地実習(フィールドワーク)を実施することに。



(2019/2/8 10:53)

学校から直線で2km離れた、小貝川の川辺までを
徒歩で一回りすること約7km。

たどった経路は地図にマーカーで書き込み。

自信のないところを随時確認し合ったりしています。



(11:00)

村落, 農業, 灌漑, 防災,
医療機関, 福祉施設, 教育機関,
遠くに見える山々, 小地形(自然堤防など),
気象, 土壌, 人口密度, 自動車交通,
都市化, 河川行政, 公園整備, 税政,
な—どなど,

地理的事象は盛りだくさん。

よくつぶやかれがちな「何もない」所など,

じつはありません。問答しながら田の道歩く約2時間。



(10:11)

写真は撮らなかったのですが、この日は、
救急車で搬送されてきた患者さんを
ドクターヘリに寄せ換えるところを、
遠巻きに私たちは目撃しました。

小貝川の堤防にある県南防災センターの
ヘリポートに着いたヘリは数分後に、
つくばか印西の救急病棟へ向かって離陸。
救急搬送の一端を見学しました。



(10:43 小貝川リバーサイドパーク ポニーが挨拶に来ました…)



(11:38)

きょうは理科の神徳先生も引率に加わってくださいました。、

「これは何だろう？と思うところから始まる。」

という話が最後にありました。教科は異なりますが、

共々地球科学専攻出身ゆえ、

野外調査はもはやスタンダード(標準的)です。



(11:34)

正門到着時に、「立礼で撮ってみちやう〜？」

と声かけながら、おかえりなさいの一枚。

ほぼ曇天でしたが気分は晴天、

風や寒さに震えることなく、

校地周辺の地域性を存分に読み取る時間となりました。

地理もまた、さぐる学問であります。



1 コメント

コメント一覧

- 1

度々。最近は、膝、腰の故障で走れず、ジレンマになってます。1月27日館山若潮フル。完走してか、インフルエンザにかかりました2月3日の合同同窓会に不参加になりました。楽しそうです。また、陸上部の皆様と練習ご一緒したいですね。まだまだ脚力は、ダメダメです。

4月か、44才受験生。久々の社会福祉士国家試験を受験します。

by: 田口 香織, on 2019/03/13

コメントを書く

2019/02/15

卓 496 冬ひとかけら

先週末は雪に見舞われ、

土曜の授業は3校時で打ち切り。



(2019/2/9 14:14 3~4cm の積雪でした。)

今週の前半は、自分のスマホ(携帯)の
ストレージ(データ容量)がとうとう満杯となり、
校内でもほとんど写真を撮らぬまま。



(でもこれは撮りました。県産のイチゴをいただきました。2/12)

さまざま検討の結果、水曜に機種変更。



(無意識に湘南色を選択)

以降、容量オーバーの不安はひとまず解消です。



(ちなみに昭和時代は、つぶして牛乳・砂糖をかけて食べてました。)

それにしても、毎年6月・11月・2月の共通点は、
月の前半がゆったりとしている反面、
後半がじわじわと忙しくなること。

ましてや、2月後半の場合は、
卒業や年度越えを目前にする分、
じわじわ度がひとときわ高く…。
できれば体調も崩したくはありません。



(家庭科の実習の試作品まで頂戴しました。生徒歓びそう。2/15 16:29)

こうした緊迫感の中で味わう甘味には、
辛党の私も心洗われる思いを覚えます。

次年度から児童保育進学コースに進む予定の
4年生(高一)9名が今日は、
取手市立こども発達センターにおもむき、



(2/15 13:31)

療育ボランティアを3時間半体験。



(13:36)

まだ、ちがう学級同士ですが、進級後は、

保育専門教科目の授業などを通じて、
チームの結束は深まっていくことでしょう。

この活動の解散後、学校に戻ると、
中1生が階段の踊り場で遊んでいまして、



(15:38 持ち場の掃除が終わった1Aの子たちです)

聞くと、壁に当てた紙片に向けて、
あらん限りの息を吹きかけ続けて競うという…。

肺活量と摩擦 VS 重力。

紙片を極力壁面にどれだけ長いこと

貼り付けられるか否か。

こうした素朴な遊びで、

物理的センスも磨かれそう。

でも、

「受験生の目の前では間違っても、

実況とかを言わないようにしてね。」

と余分なアドバイス。

春近し。

順風満帆でいきたいものです。



(卓 494 にて既報ですが…)

本校の教員ブログが次年度から、

新たな URL に移ることになりました。

ですので、2009 年から始まった今号も含むバックナンバーは

4月からは現行の <http://torideseitoku-tblog.jp/>

からご覧いただくことができなくなります。ご了承ください。

0 コメント

2019/02/22

卓 497 なぞの青海…

濃霧の、県道19号線。



(2019/2/20 7:48)

学校そばの田園地帯を貫く、
取手市とつくば市を結ぶ幹線道路です。



(2/22 17:38)

水曜に、お隣のつくばみらい市の谷井田・福原間で、
旧来の橋を架け換えに近い形で、新区間が開通。



(2/22 17:41)

それはさておき、先週ふれました、
2月後半のじわじわとした忙しさ、
たけなわです。

2/20	水	
2/21	木	校内研修会 学校環境衛生検査（薬剤師来校） 和弘寮卒業生を送る会 ③⑥植樹式(5) ⑥特別講演会（11:00～，視聴覚室）
2/22	金	第3回ワープロ等検定 フレッシュ・コンサート
2/23	土	小4・5、中1・2対象学校説明会 レッスン・シリーズ 後援会役員会第8回（10:45～，後援会室） 後援会第3回評議員会（13:00～，会議室） ③演劇発表会（10:00～）
2/24	日	第3回英語検定（2次） 成人を祝う会（10:00～）
2/25	月	↓①②④⑤学年末考査（～2/28）
2/26	火	卒業証書授与式代表練習（1）～（4）
2/27	水	⑥登校日
2/28	木	↑①②④⑤学年末考査（2/25～） ⑥登校日 卒業証書授与式全校練習 会議日
音楽鑑賞会該当学年は、5校時以降通常授業カット。		

考査も目前。



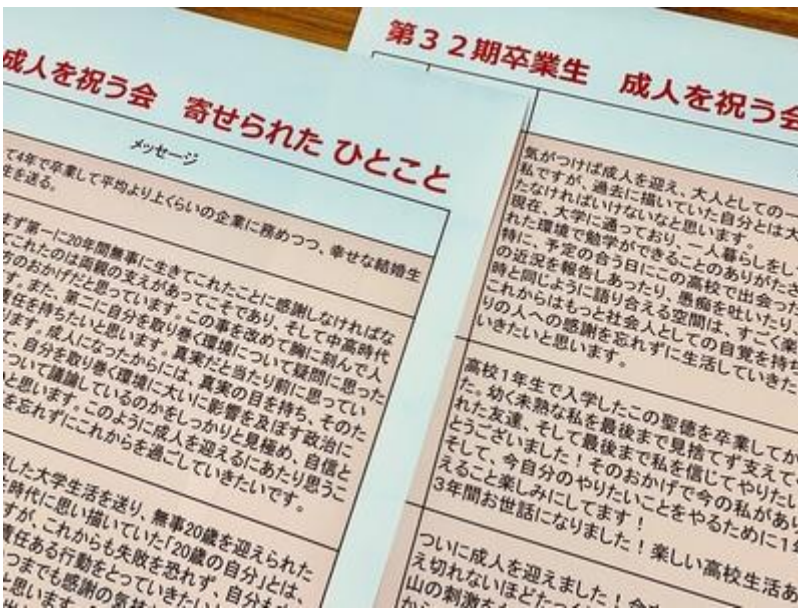
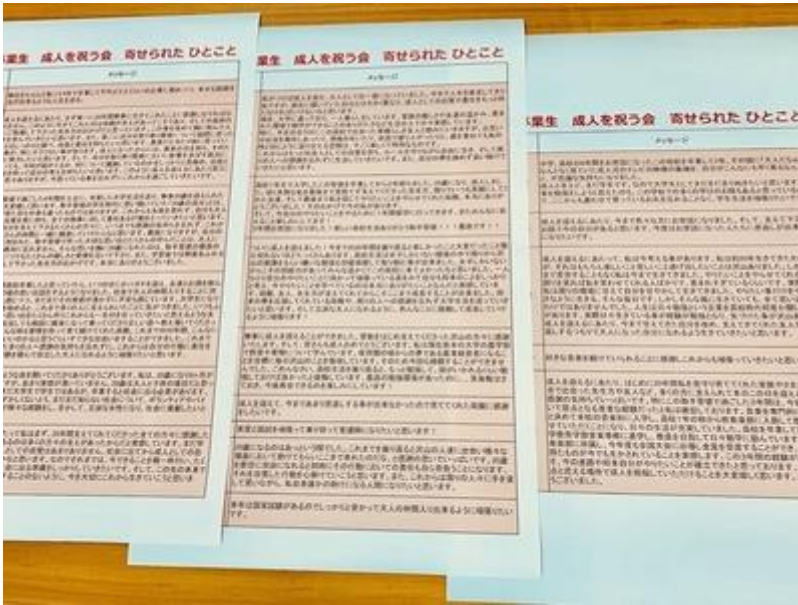
（ 2/22 18:38 ）

試験勉強・冬景色。



(18:39)

試験の準備のみならず、



成人を祝う会 (2/24),



学校説明会(2/23)や卒業証書授与式(3/2)の

準備・準備・準備。

そんな中、またまた、

調理実習の試作品を頂戴しました。



(2/22 18:28 莓入り牛乳寒 つぶさずにいただきました。)

木曜日は久々に、6年生(高三)の

全員登校日。

お昼の会食にも、



(2/21 12:46 集合時 久々に揃った6年生のゾーン)

再会の感。

ちなみに何日か前の会食は、

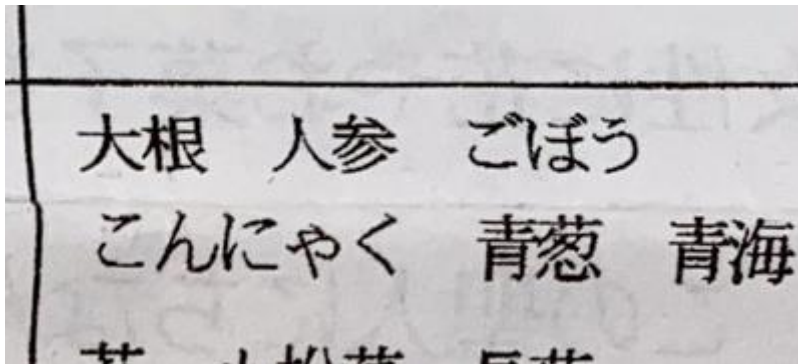


日付	メニュー	材料	カロリー	たんぱく質	脂質	糖質	塩分	その他	
14 (木)	ココアゼリー メンチカツ 五目豆 オレシジ	味噌汁 豚肉 豚肉 牛肉 大豆	米 パン粉 砂糖 小麦粉 油	大根 えのき キャベツ 菜豆 ごぼう 人参 こんにゃく 干椎茸 玉ねぎ オレシジ	777	22.4	23.7	2.9	○
15 (金)	二色 鮭の柚香焼き 三色ごま和え	豚肉 鮭 豚肉 鮭	米 砂糖 さつまいも 油 ごま	人参 大根 椎茸 ニンニク 生姜 ほうれん草 葱 もやし	718	27.6	22.0	2.5	○
16 (土)	二色 中華風コンソースープ 鶏のさし揚げ コーンスローサラダ ゆずA 考案	豚肉 ハム チーズ 鶏肉	米 小麦粉 片栗粉 油 ドレッシング	コーンクリーム コーン 青豆菜 生薬 こんにゃく ブロッコリー キャベツ 唐ピーマン					○
18 (月)	二色 鮭の柚香焼き 小松菜の炒め煮 カルシウムヨーグルト	豚肉 味噌汁 鮭 ちくわ ヨーグルト	米 塩辛 コショウ 油	大根 人参 ごぼう こんにゃく 青豆 青葱 苔 小松菜 長葱	723	34.5	18.2	2.6	○
19 (火)	二色 木耳と豚肉のスープ 豚肉の炒め物 青豆菜の中華風和え ジョア	豚肉 豚肉 ちりめんじゃこ	米 ごま油 砂糖 片栗粉 ごま	木耳 青葱 玉ねぎ ピーマン 生姜 こんにゃく 青豆菜 もやし	761	30.8	23.4	2.7	○
20 (水)	二色 しらすご飯 油汁 豚肉の香り焼き 大根サラダ	しらす 豆腐 豚肉 チーズ ツナ	米 ごま ケチャップ 油 ドレッシング	人参 小松菜 生姜 こんにゃく キャベツ 大根 レタス 焼き海苔	703	27.4	27.1	2.9	○
21 (木)	二色 白身魚のチーズ焼き 温泉卵の炒め煮	厚揚げ 白身魚 チーズ 豚肉	米 塩辛 バター 油 ごま油 砂糖	しめじ 青葱 ほうれん草 コーン 人参 椎茸 いんげん	699	29.7	22.1	2.8	○
			米 醤油 ごま油 油	えのき わかめ セロリ 人参 ピーマン 長葱	722	31.0	23.6	3.1	○

(12:53)

「ご飯 豚汁 鮭の柚香焼き 小松菜の炒め煮 カルシウムヨーグルト」、です。

材料の欄を見ますと、



(「体の調子をよくするもの」の欄です)

「大根 人参 ごぼう

こんにやく 青葱、…」

につづいて…,

「青海」??

「青梅」の1文字間違い? (間違いではありませんでした)

何? 「青海」って食材は…。

中華人民共和国の西部にある

青海省に何か因んでいたりするのか…。

都内・お台場のそばにある地区・「青海(あおみ)」と,

何か関係あるのか…。

二、三十秒しばらく不思議に思っておりましたが、

よく見ると、「ああ、なんだ〜!」、でした。

大根	人参	ごぼう
こんにゃく	青葱	青海
苔	小松菜	長葱
木耳	青葱	玉葱

上の画像で読解なさった方も

多いと思いますが…。

寄ってみますと、



たしかに、細かいのが少し風味づけで
所々に入っているのがわかりますね。

でも間違っても、
コケ(苔)は使われてはいません。

広い視野で、連続して読もうとすることも
大事なこともかもしれません。



(卓 494 にて既報ですが…)

本校の教員ブログが次年度から、

新たな URL に移ることになりました。

ですので、2009 年から始まった今号も含むバックナンバーは

4月からは現行の <http://torideseitoku-tblog.jp/>

からご覧いただくことができなくなります。ご了承ください。

0 コメント

2019/03/01

卓 498 今日から君は！！

火曜日。

冬至の頃ならとうに暮れていた午後4時半は、



(2019/2/26 16:41 事務室前)

西日で宇宙人様の影が、壁に映るほどにまで。

水曜日。

そうこういいながらも、



(2/27 9:09 作業時間は 定期考査期間の空き時間を後寄せにして得ています。)

土曜日の卒業式の準備もいよいよ本格化。



(9:10)



(9:16)



(9:35)

木曜日。

朝， 出勤。



(2/28 7:54)

自家用車組の生徒も、毎朝歩む石畳。



過去の卒業記念樹の紅梅が、咲きほこる歩道。

少し先をゆく、理科の新井貞夫先生の後ろ姿。

寄って見ると、



意外にも、花咲く季節に合ったデザインの…。



陽は射さなくとも、湿ったレンガに影の映る、

なにか幻を目にしたような、朝・8時前。

金曜日。

式の前日。予行の日。



(3/1 8:53)

高三の主任と、音楽科(合唱指導)の二つの立場にある

酒井あゆみ先生(小山あゆみ先生)が全校生徒にかける

やる気アップの爽快な話しかけには、

優しさの中に不思議な力が感じられました。



(9:49)



(9:33)

なお、式の当日(3/2),

卒業生の入場は、9時38分からの開始予定です。

予行も終わって、



(新井先生 again)



(11:47)

第二体育室。

在校生たちが趣向を凝らす，お別れ会。



(12:15)

最後に，特大ボードを。

在校生や教職員のメッセージを散りばめてあり，

編集をし遂げた力にまずは脱帽。



(12:17)

式当日の朝にも見ていただきましょうと、

生徒玄関の受付の背後に移設。



(15:16)



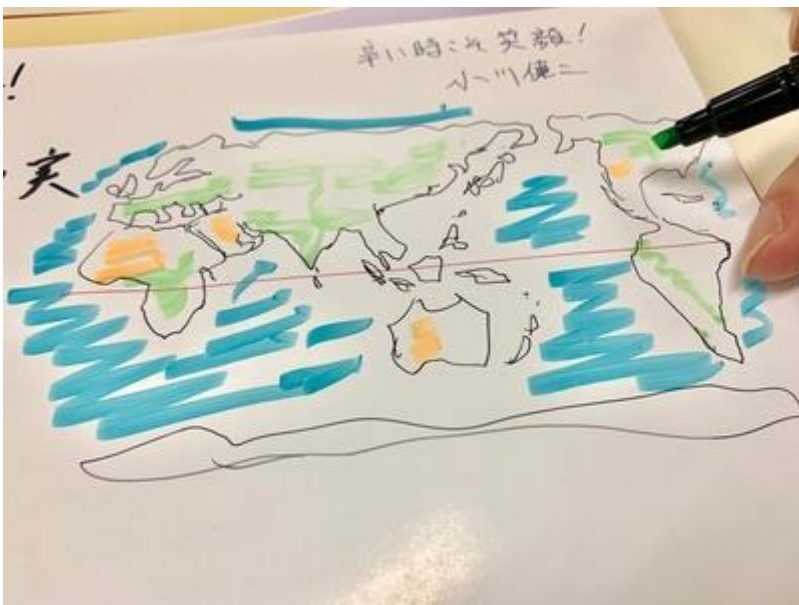
で、自分が提出したのは・・・、 ありました。



(展示期間中、さがしてみてください。)

あと、お願いされたのは、

卒アル見返しへの書き込み。



(14:57 小川先生 書き込みニアミスすみません。)

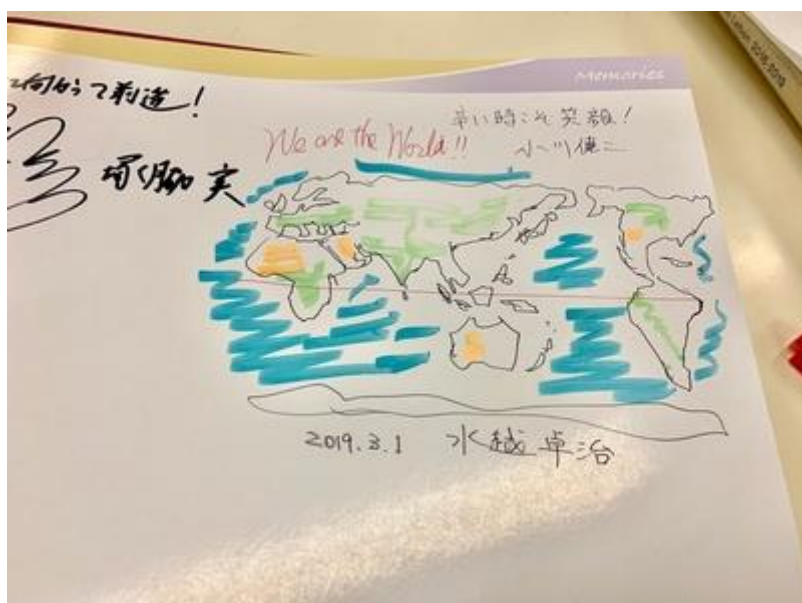
先生方の激励に紛れて、へたくソ世界地図を。

「いかん、スリランカが赤道より南になってしもた・・・」な。

そのうえ、緑のインクの出がかすれてきてしまい、

「う。地球上の緑の危機！」

とかぼざく私にわざわざ苦笑する卒業生。



(心込めてますが、繰り返し画いてるうちにちょっとガタガタな感じに。)

これは縁起でもないとか

思われるくらいの方がむしろ、

パンチが利いててよいのかもしれない。

発信できる自分へ。

地を出して生きていこう。



(事務室前。宮本先生作。式当日は校舎外に掲出します。バリバリ記念写真撮ってください。)



(卓 494 にて既報ですが…)

本校の教員ブログが次年度から、

新たな URL に移ることになりました。

ですので、2009 年から始まった今号も含むバックナンバーは

4月からは現行の <http://torideseitoku-tblog.jp/>

からご覧いただくことができなくなります。ご了承ください。

0 コメント

2019/03/08

卓 499 水ぬるみ 気ゆるまず

今週一週間は、先週土曜の卒業式から、
ゆうにかなりの日数を経たようにも感じた、
水ぬるむ時季の到来を思う日々でした。



(2019/3/2 7:59)



(10:13 6か年皆勤賞・精勤賞授賞)



(10:18 6か年皆勤賞・精勤賞授賞)



(11:47 卒業生答辞)



(11:57 保護者代表挨拶)



(12:07 卒業生退場)



(12:11 卒業生退場)



(12:12 卒業生退場)



(12:45 謝恩会(13:00-)の案内に保護者控室に来た卒業生)



(12:57 下校在校生のお弁当回収センター)



(13:19 謝恩会 卒業生は奥の方から保護者に配膳)



(13:15 13:26 麺と半ライスに感謝)



(3/2 13:56 謝恩会のクライマックス)



(3/2 14:30 最後のホームルームの時間)



(3/7 7:57 式の翌週)



(3/8 14:51 5年生・保健の公開授業)



(3/8 15:34)



(3/8 7:52)

1週間後の 3/17 は、
各地の学校を卒業してきた小・中学生が、

新入生登校日に来校します。

卒業証書授与式 学園歌三部合唱・・・

<https://www.facebook.com/torideseitoku/videos/312256816103909/>

(3/2 9:52)



(卓 494 にて既報ですが・・・)

本校の教員ブログが次年度から、

新たな URL に移ることになりました。

ですので、2009 年から始まった今号も含むバックナンバーは

4月からは現行の <http://torideseitoku-tblog.jp/>

からご覧いただくことができなくなります。ご了承ください。

0 コメント

